

認知症のこと、考えてみませんか

正しく理解して 地域で支えましょう



認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、近い将来、高齢者の5人に1人がなると言われています。認知症が原因で、今までの人間関係が損なわれてしまうこともあります。ですが、周囲の理解と気遣いがあれば、そのようなことも防ぐことができ、そのためには、誰もが認知症についての正しい知識を持ち、地域で支え合うことが重要です。

「認知症」のこと 知っていますか

「尊厳を持って最後まで自分らしくありたい」。これは誰もが望むことです。

超高齢化社会を迎え、認知症は社会の深刻な問題となっています。

■認知症は誰にでも起こりうる症状

平成24年の調査では、全国で約462万人、65歳以上の人の7人に1人が認知症と推定され、37年には700万人を超えると言われています。

認知症を引き起こす代表的な病気として、脳神経が壊されて脳が小さくなってしまいう「アルツハイマー病」と、脳の血管が詰まって一部の細胞が死んでしまいう「脳血管性障害」があります。これにより、記憶障害、理解・判断力の障害、実行機能障害、感情表現の変化などの症状が現れます。

■正しい知識をもって、地域ぐるみで支え合いを

認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果、周囲の人との関係が損なわれることもあります。

そうならないためにも、地域で支え合い、誰もが認知症について正しい知識を持って、認知症の人や家族を支える手だてを知ることが必要です。

市の認知症支援の ビジョン

市では昨年度、市民を含む多くの職種の人たちと認知症支援について話し合い、支援の方針を決めました。

■認知症支援ビジョン

○認知症の理解

誰もが認知症を理解し、認知症を隠さない環境、気軽に相談ができる環境づくり

○家族への支援

家族の気持ちを理解し、周囲から声掛けができる環境づくり

○専門職間の連携

多職種で認知症支援について相談や連携を行い、ケアのスキル向上を目指す

○地域づくり

認知症の人や家族が集まれる場を設け、地域で見守りができる環境づくり

○認知症の予防

市民自らが、積極的に予防活動に取り組むことができる環境づくり

■高齢者SOSネットワーク

「高齢者SOSネットワーク」とは、高齢者が行方不明になったときに地域と市が連携し、早期発見を目指すシステムです。

- ① 捜索依頼を受けた警察が、市へ連絡する。
- ② 市は防災行政無線などで情報を周知する。
- ③ 周知した情報を基に、地域から目撃情報を募る。

行方不明になる心配がある人については、市役所高齢者支援課で事前登録をすることができます。

オレンジカフェ



毎月1回開かれるオレンジカフェ

オレンジカフェ（認知症カフェ）は、認知症のある本人やその家族、介護に携わる人、地域に住む人が気軽に集い、意見や情報の交換できる場として開催しています。

日時…毎月第3金曜日10時～11時30分
場所…市民ふれあいセンタートレーニングルーム 参加費…100円（飲み物・菓子代）

オレンジ色の“輪”を広げる 「認知症とともに生きる オレンジの会」

ボランティアグループ「認知症とともに生きる オレンジの会」は、認知症のボランティア活動に携わっていた人たちが集まり、今年4月に結成されました。

オレンジの会は、認知症の理解を深めてほしいという思いから設立した、約20人のボランティアグループです。認知症は周囲の正しい理解があれば、普段に近い生活を送ることができます。家族が認知症になったら、家族間でよく話し合い認知症を理解しましょう。そして、周囲の人に状況を知ってもらい、地域で支え合うことが大切です。悩みがあればカフェに来てください。また、オレンジの会のボランティアも募集中です。



オレンジの会代表
椎名文生 さん

まずは、家族で話し合うことが大切です。

9月19日 敬老の日 ご長寿おめでとうございます

市では、今年度米寿（88歳）を迎える284人と、95歳、99歳および100歳以上の129人に記念品を贈り、長寿をお祝します。

100歳以上を迎えた35人をご紹介します

※敬称略。年齢は平成29年3月31日時点の満年齢。変体がなは、ひらがなで表記。

- 107歳 荒井秋（中央）
- 106歳 伊東あや子（須賀）
- 105歳 増田与志（中央）
- 103歳 伊東あき（中央）、宇井初代（野田）
- 102歳 伊橋よし（野田）、岩崎キク（椿海）、大枝てる（中央）、大木ヨシ（須賀）、
- 101歳 石毛はる（平和）、大木貞子（中央）、大木はる（須賀）、大木よし（平和）、佐久間チョコ（野田）、椎名章（平和）、椎名よね（豊和）、鈴木茂（椿海）、眞田かつ（中央）
- 100歳 伊東政次郎（野田）、伊藤たつ（栄）、宇井喜美子（豊和）、宇井美知（野田）、宇井野すい（栄）、小川とめ（野田）、鎌形静江（平和）、小石美枝（野田）、齊藤るい（野田）、佐久間はる（中央）、志賀みつ（中央）、高木あさ子（野田）、林とよ（野田）、林はな（野田）、林良（共興）、増田實子（中央）、矢内俊子（豊栄）



栄小学校で行われた「認知症ジュニアサポーター養成講座」

■認知症の理解を深めるサポーター養成講座
市では、次の講座を通じ、幅広い世代に向けた認知症に関する正しい知識の普及・啓発を行っています。

《認知症ジュニアサポーター養成講座》

市内小中学校の児童・生徒を対象に開催している講座です。座学や寸劇などを通して、子どもたちに認知症の症状などについて正しく理解してもらいます。

《認知症サポーター養成講座》

認知症の症状や、認知症の人への接し方を学ぶ講座です。各種団体など、少人数（5人以上）で開催できます。認知症について理解を深め、支援の輪を広げましょう。

脳若返り教室

脳トレなどで楽しく認知症予防

日時…9月28日（水）、10月6日（木）・19日（水）・28日（金）の全4回 各回13時30分～14時45分
場所…市民ふれあいセンター（10月19日のみ八日市場ドーム） 対象…市内在住の65歳以上の人
定員…各回20人（申し込み順） 締め切り…9月21日（水）

※4、5ページに関する申し込み、問い合わせは高齢者支援課 ☎73-0033へ